

プログラミング言語「ドリトル」(V2.30)

2011年9月16日 兼宗進

新しい書籍(第2版)を拡張した改訂版です。

- 基本機能の詳しい説明は書籍（「ドリトルで学ぶプログラミング[第2版]」兼宗進、久野靖、イーテキスト研究所、1,890円）をご覧ください。
 - 出版社のご厚意で、PDFがパッケージに同梱されています。
 - 書籍(第1版)に対応したバージョン([V2.00](#))や書籍(第2版)に対応したバージョン([V2.20](#))とは一部のプログラムが異なる箇所があります。ご注意ください。
 - 【注意】MYUを制御するプログラムは、文法が全面的に変更になりました。
 - 拡張・変更された機能については、以下の説明を参照してください。

動作環境

- ドリトルの実行には、最新のJava(1.5以降)が必要です。
- 次の環境で動作を確認しています。パッケージにはリリースノート（[readme.pdf](#)。この文書）、マニュアル（[book.pdf](#)）、サンプルプログラム（[sample](#)）などが含まれています。
 - Windows XP/Vista/7 (32bit/64bit)
 - [dolittle.bat](#)から起動してください。
 - Linux (Ubuntu)
 - [dolittle.sh](#)から起動してください。
 - Mac OS X (Leopard, Snow Leopard) Intel CPU
 - dmgに含まれる「Dolittle」を「アプリケーション」にコピーしてお使いください。その後、「アプリケーション」の「Dolittle」をDock（起動メニュー）に登録しておくくと便利です。
 - 初めてドリトルを起動したときに、ユーザーごとの「ライブラリ」フォルダの下に「Dolittle」というフォルダが作られます。必要に応じて、[startup.ini](#)などのini初期化ファイルや、プログラム中で利用する画像ファイルなどを置いてください。
 - MYUなどの外部機器を制御する場合は、事前に管理者権限で次の準備が必要です。

```
sudo mkdir /var/lock
sudo chmod 777 /var/lock
```

使い方

マニュアル

- [V2.20](#)以降は書籍(第2版)を参照してください。（[V2.30](#)以降では、MYUの制御はマニュアルを参照してください）
- [Amazon](#)（通販）で購入できます。
- 出版社のご厚意で、書籍を修正したPDFがパッケージに同梱されています。

サンプルプログラムの実行

- 「開く」ボタンをクリックすると、サンプルプログラムを読み込みます。
- 「実行！」ボタンをクリックして実行してください。

プログラムの作成

- 「編集画面」のタブでプログラムを入力します。
- 「実行！」ボタンをクリックして実行してください。
- 「保存」ボタンでプログラムを保存できます。

終了

- 「終了」ボタンで終了します。

詳しい情報

WWW

- ドリトルの情報は次のサイトに集められています。リリース情報は「[ダウンロード](#)」のページをご覧ください。
 - <http://dolittle.eplang.jp>

コミュニティ

- ドリトルの質問は「ドリトル掲示板」に書いてください。
 - <http://dolittle.bbs.fc2.com/>
- ユーザーの情報交換は、「[ドリトルユーザーフォーラム](#)」をご利用ください。

V2.30の修正点(前バージョンはV2.20)

新規機能

- 編集画面でショートカットキーでフォントサイズを変更できるようにしました。(MacintoshはCtrlの代わりにCommandを使います)
 - 「Ctrl-↑」で拡大
 - 「Ctrl-↓」で縮小
 - 「Ctrl-0」でデフォルトに戻す
- タイマーに、そのタイマーのすべての実行を停止する「停止」を追加しました。
- 画面の「背景画像」で、背景の画像を表示できるようにしました。
- MYUを制御する構文を変更しました。
- MYUの動作を画面でシミュレーションできるようにしました。

仕様変更

- 要素数より大きな位置の「上書き」で、その配列を拡張するようにしました。
- MYUの制御が64bitのWindowsに対応しました。

以上



Modified by [kanemune](#).

Powered by PukiWiki Plus! 1.4.7plus-u2-eucjp. HTML convert time to 0.100 sec.

